

## 川崎市役所広場地区が令和 8 年度都市景観大賞 「公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞」 を受賞しました！

川崎市役所本庁舎とその周辺の広場空間で構成された「川崎市役所広場地区」が、令和 8 年度都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）の都市空間部門において、「公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

### 1 都市景観大賞について

都市景観大賞とは、より良い地域の景観形成を目指すための普及啓発の一環として、地域の活性化につながる取組の契機となるよう、優れた都市景観を形成している地区や地域の景観に関する活動を表彰する制度で、「都市景観の日」実行委員会が実施しています。

### 2 受賞内容

#### 令和 8 年度都市景観大賞 都市空間部門

#### 公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

受賞理由 ・これまで市民に対して閉じられがちであった市役所空間を、街路との境界をなくし広場化することで、多目的に利用できる開かれた公共空間へと転換し、地域の新たな核を創出している。  
・ランドスケープデザインの完成度も高く、緑や舗装、空間構成が調和した質の高い都市景観が実現されている。加えて、旧市役所のファサード（正面外観）を復元・保存したことにより、市民の記憶と歴史を継承する象徴的な場となっている。

### 3 建築概要

#### （1）川崎市役所本庁舎

所在地：川崎市川崎区宮本町 1 番地  
延床面積：約 62,356 平方メートル  
階数：地上 25 階、地下 2 階  
構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、  
鉄骨鉄筋コンクリート造  
竣工：令和 5（2023）年 6 月

#### （2）川崎市役所広場

所在地：川崎市川崎区砂子 1 丁目 9 番地 3  
敷地面積：約 1,309 平方メートル  
竣工：令和 7（2025）年 3 月

#### 【川崎市役所本庁舎・概要】

本庁舎は、歴史を継承する「復元棟」、防災の要となる「高層棟」、復元棟と高層棟を繋ぎ、明るく、開放的、立体的な都市空間である「アトリウム」で構成しています。アトリウムに面して、カフェ、コンビニ、展示施設、会議室などを配置し日常的なにぎわいを生む空間として整備するだけでなく、発災時には災害対策スペースに転換可能な空間となっています。

#### 【川崎市役所広場・概要】

旧本庁舎と旧第 2 庁舎の二つの庁舎に挟まれて地区を分断していた道路を歩行者専用道路化するとともに、JR 川崎駅からの「緑の軸」と商店街の「にぎわいの軸」が交差する街の結節点となることから、広場として整備し、多目的に利用できる開かれた公共空間としています。

### 4 参考 URL（国土交通省ホームページ「令和 8 年度「都市景観大賞」各賞の選定」）

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10\\_hh\\_000613.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000613.html)





敷地南側から見た川崎市役所本庁舎の鳥瞰。左側に市役所広場、右側に川崎市役所本庁舎と復元棟前広場を配置し、中央の道路を歩行者専用道路化することにより、両敷地をつなげた構成としている。



市役所道路に面してゆとりある空間を整備し、まちの活気やにぎわいを向上させる広場空間。手前から復元棟前広場、歩行者専用道路、市役所広場



復元棟の1階に配置されたカフェと連動して使うことができる復元棟前広場のテラス。高木や芝生により、うるおいを感じながらベンチで過ごすことが可能となっている。



復元棟のライトアップや広場の足元を照らす動きのある演出照明など、夜間のスカイライン形成や照明による、川崎市の情報発信など、新たな夜の「まちの顔」となることを目指した照明計画

(問合せ先)

川崎市総務企画局総務部庁舎管理課 福田

電話 044-200-0861

内線 21503